第三次下野市観光振興計画

~持続可能な観光地域づくりを目指して~



下野市



「東の飛鳥(ひがしのあすか)」

下野市は「東国における飛鳥時代の謎」を解き明かすために重要な遺跡が多く残るという歴史的特性を有しています。

この歴史的特性を「東の飛鳥」と名付けて、文化財を活用した地域づくりを進めています。

はじめに

令和2(2020)年からの新型コロナウィルス感染症拡大や2022年ロシアのウクライナ侵攻などの影響により、私たちを取り巻く社会経済情勢は大きな変化の中にあり、日常生活はもちろん、観光を取り巻く環境にも大きな変化が生じました。

全国的な課題となっている人口減少・少子高齢化について も、依然として歯止めがかからず、本市においても、移住定住 や関係人口の拡大といった地方創生、地域活性化の実現を目指



すため、観光振興により、持続的に「稼げる」地域の構築と「住んでよし、訪れてよし」の 地域づくりを進めていく必要があります。

そのため、本市では平成 26 (2014) 年に下野市観光振興計画、平成 31 (2019) 年に第二次下野市観光振興計画を策定し、本市の特性を活かした観光振興に取り組んでまいりました。主な取組としては「天平の花まつり」、「グリムの森イルミネーション」をはじめとする市内での多彩なイベント開催の他、いにしえの国指定史跡である下野薬師寺跡、下野国分寺・国分尼寺跡などの文化財を基軸とした観光プロモーションを推進してまいりました。

また、今後新たなシティプロモーションを展開するにあたり、本市が飛鳥時代には古代東国の中心として栄えた歴史的特性を背景に、約1500年前から「自然が豊かで災害が少なく暮らしやすい」ことをキャッチフレーズとした「東の飛鳥プロジェクト」に着手することとしたところであります。

これらを踏まえ、本計画では「東の飛鳥プロジェクト」の推進とこれまでの取組である SDGs(経済・社会・環境の正の循環)の考え方を紐づけ、将来にわたって持続可能な観光 を目指していくとともに、本市の観光資源を通して、市民一人ひとりの「下野市に住んでよかった、住み続けたい」といったシビックプライド(郷土愛)を醸成し地域を盛り上げていくことが、市内外への PR のみならず、観光誘客や関係人口の増につながると信じ、ここに第三次下野市観光振興計画を策定しました。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました下 野市観光振興推進委員及びご協力を賜りました市民の皆様に心から感謝を申し上げます。

令和6(2024)年3月

下野市長 坂村 哲也

目 次

第1章	章 計画策定の基本	はいな考え方	
1	計画策定の趣旨		1
2	計画の位置付け		2
3	計画の期間		2
4	下野市の概要		2
5	国・県の動向		4
第2章	章 観光を取り巻く	く現状と課題	
1	国内観光の状況		5
2	栃木県内観光の場	犬況	7
3	下野市内観光の場	犬況	8
4	下野市の観光資源	京	10
5	下野市の観光に関	関する市民アンケート調査結果	15
6	下野市の観光の誤	果題	21
第3章	章 下野市の観光扱	 長興の基本方針	22
第4章	章 下野市の観光扱	 長興アクションプラン	
1	施策•事業一覧		23
2	施策展開		
	基本施策1	魅力ある観光の推進	24
	施策1-1	観光プロモーションの推進【重	直点施策 】
	施策1-2	観光関係者の連携	
	施策1-3	観光施設の環境整備・充実	
	施策1-4	郷土愛の醸成	
	基本施策2	観光資源の創出	39
	施策2-1	新たな観光資源の開拓	
	施策2-2	下野ブランドの活用	
	施策2-3	広域観光の推進	
	基本施策3	インバウンド対策	47
	施策3-1	外国人観光客の誘客	

第5章	計画の推進	
1 1	計画の推進体制	49
2	計画の進捗管理	49
資料1	下野市観光振興推進委員会設置要綱	50
資料2	下野市観光振興推進委員会委員名簿	52
	第三次下野市観光振興計画の策定経過	53
資料3	为一人下到世纪儿双男司四以水足胜坦	

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

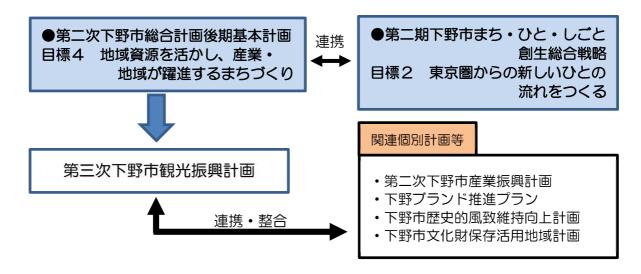
人口減少や少子高齢化が進むなか、観光は、地域への経済波及にとどまらず、移住定住、交流人口の拡大など、「サステナビリティ(持続性)」の面においても、地域にとって大きな効果が期待されています。

また、新型コロナウィルス感染症(以下「コロナ」という。)後の人々の意識の変化や、若者の「心の豊かさ」「自分らしく生きる」といったウェルビーイング的価値観への変化に伴い、観光におけるニーズにも変化が生じており、「ダイバーシティ(多様性)」「ウェルビーイング(幸福・充実感)」の考え方は欠かせないものであります。観光庁の訪日外国人消費動向調査(2023年7-9月期報告書)によると、訪日外国人は、日本滞在中に「日本食を食べること」「日本の歴史・伝統文化体験」「自然景観を楽しむ」「日本の日常生活体験」など、経験・体験に対して価値を見出しており、インバウンドによる消費増加も期待されます。

これらの状況から、第二次下野市総合計画及び第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた本市の将来像・目標の実現に向けて、交流人口の獲得、定住人口の確保を図り、地域の活性化を目指すため、行政や観光関係者のみならず、市民も一体となり、将来にわたり持続可能な下野市の観光振興に取り組むうえでの目標となる第三次下野市観光振興計画を策定します。

2 計画の位置付け

本計画は、第二次下野市総合計画後期基本計画基本施策4-3「魅力ある観光まちづくり」に位置付けられている施策1「魅力ある観光の推進」、施策2「観光資源の創出」及び施策3「インバウンド対策」に関する具体的な施策を定めた個別計画として策定するものです。



3 計画の期間

本計画は、令和6(2024)年度を初年度とする令和10(2028)年度までの5か年計画として策定します。なお、計画策定後は進捗状況の把握に努めるとともに、観光を取り巻く社会的情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて計画内容の見直しを行います。

4 下野市の概要

(1) 位置と地勢

下野市は、関東平野の北部、栃木県の中南部に位置し、都心から約 85km 圏にあり、首都圏の一端を構成しています。南北約 15.2km、東西約 11.5kmで、北は県都宇都宮市、南は小山市、東は真岡市と上三川町、西は栃木市と壬生町に接し、面積は 74.59 平方キロメートルです。

東に鬼怒川と田川、西に思川と姿川が流れる高低差のあまりない、古来より開け た平坦で安定した自然災害も少ない地域です。 JR宇都宮線の自治医大駅を中心にニュータウンによる新市街地が拡がり、日光街道沿いの小金井や石橋の旧宿場町とその周辺部の田園地帯とともに下野市を形成しています。

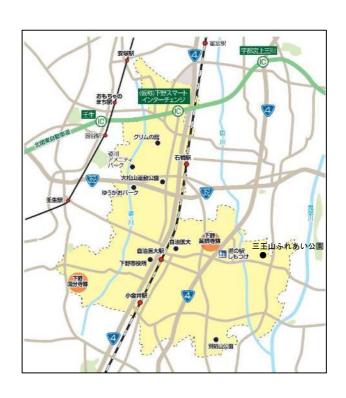
(2) 交通体系

下野市は、古くから日光街道の通る交通の要衝となっていました。

現在、鉄道は南北に縦貫するJR宇都宮線に、北から石橋駅、自治医大駅、小金井駅の3つの駅があります。

道路は、南北軸に国道4号及び新4号国道、東西軸には国道 352 号が通っています。

また、北関東自動車道が市の北部を横断しており、最寄りの宇都宮上三川インターチェンジ(IC)、壬生ICまでは約20分、東北自動車道の鹿沼IC、栃木ICまでも約30分の距離にあります。令和8(2026)年3月には北関東自動車道に(仮称)下野スマートインターチェンジの供用開始が予定され、これらの恵まれた交通網により、首都圏から本市まで約1時間半程度で来訪できる環境となっています。



5 国・県の動向

(1) 国の動向

国は、観光立国推進基本法の規定に基づき策定する観光立国推進基本計画について、令和5(2023)年に見直しを行い、コロナ禍による変化やコロナ前からの課題を踏まえ、観光立国の持続可能な形での復活に向け、観光の質的向上を象徴する「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の3つをキーワードに、持続可能な観光地域づくり、インバウンド回復、国内交流拡大の3つの戦略に取り組むこととしています。

(2) 栃木県の動向

栃木県では、コロナ禍からの観光需要の早期回復や更なる観光振興を図るため、 県や市町、観光関連団体、観光・交通事業者、県民等が協働して取り組むべき施策 の方向性や新たな指針として、令和 3 (2021) 年に「新とちぎ観光立県戦略」を 策定しました。

本戦略の施策展開においては「観光立県とちぎプロジェクト(第2期)」として、 選ばれる観光地づくりの推進、観光客受入態勢の整備、国内観光客の誘客強化、外 国人観光客の誘客強化の4つに取り組むこととしています。

第2章 観光を取り巻く現状と課題

1 国内観光の状況(国土交通省:令和5年版観光白書より)

(1) 日本人国内旅行の状況

令和4(2022)年の日本人 一人当たりの国内宿泊旅行回 数は 1.2 回、日帰り旅行回数 は 1.1 回、一人当たりの宿泊 数は 1.9 泊でありました。

【図表 1】

図表 1 日本人一人当たりの宿泊旅行、日帰り旅行の回数及び宿泊数の推移 2.0 1.6 1.5 1.5 1.2 1.1 1.0 0.7 0.7 0.6 0.7 20 21 22 (年) ■ 1 人当たり旅行回数 (宿泊旅行) 1 人当たり施行回数(日帰り施行) 1 人当たり宿泊数(右軸) 資料: 観光庁「旅行・観光消費動向調査」 観光・レクリエーション目的

また、国内宿泊旅行者数は延べ2億3,247万人、国内日帰り旅行者数は延べ1億8,539万人でありました。【図表2】



いずれも、前年を上回りましたが、コロナ禍前の令和元(2019)年と比べると、回復に至っていない状況にあります。

国内における旅行消費額では、日本人旅行者が17.8兆円、訪日外国人旅行者が0.9兆円、合計18.7兆円でありました。うち、日本人の国内宿泊旅行が約7割を占めています。【図表3】



(2) 地域における観光の状況

令和4(2022)年の日本人の国内延べ旅行者数を地方ブロック別にみますと、関東が1億2,675万人であり、全体の3割を占めています。また、関東では、宿泊旅行と日帰り旅行の人数にそれほど差は見受けられません。【図表4】

しかし、旅行消費額をみますと、宿泊旅行における消費額が日帰り旅行における消費額を大きく上回っています。【図表 5】



資料: 観光庁「旅行·観光消費動向調查」



資料: 観光庁「旅行・観光消費動向調査」

2 栃木県内観光の状況

(栃木県産業労働観光部:令和4年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果より)

栃木県の観光客入込数及び 宿泊数についても、令和2 (2020)年から猛威を振る ったコロナ禍の影響により大 幅な落ち込みとなりました。

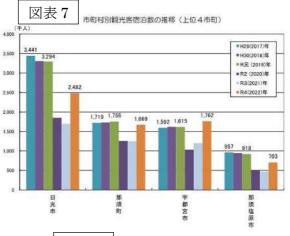
観光客入込数と宿泊数を比較しますと、例年、宿泊数は観光客入込数の1割程度であり、栃木県への旅行者の多くが日帰り旅行であることがうかがえます。【図表6】

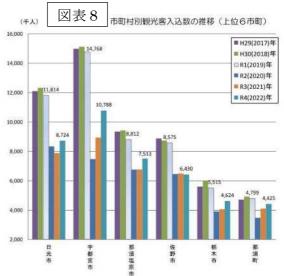
図表6 栃木県観光客入込数・宿泊数の推移 入込数(千人) 宿泊数(千人) 100,000 17,000 入込数 → 宿泊数 92.282 90,000 15,000 80,000 70,000 13,000 60,000 11,000 50.000 9,000 8.257 40,000 7,000 30,000 5.468 20.000 5.000 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4

令和4(2022)年の観光客宿泊数の 上位4市町(日光市・那須町・宇都宮 市・那須塩原市)の合計は6,616千人 であり、県全体の9割を占め、宇都宮市 及び県北地域に集中しております。

【図表7】

観光客入込数の上位6市町をみますと、本市と同じ県南地域に位置する佐野市・栃木市が入っており、県南地域へも多くの観光客の流れがあることがうかがい知れます。【図表8】





<用語解説>観光客入込数とは

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的とせず、「観光地」や「行事、祭り、イベント」を訪れた者。

観光客入込数は、以下の条件を満たす(行祭事、イベントについては②及び③)場所を「観光地点等名簿」に記載し、その地点の入込客数を集計する。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。②観光客入込数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光客入込数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光客入込数が5千人以上であること。

3 下野市内観光の状況

(1) 下野市観光客入込数

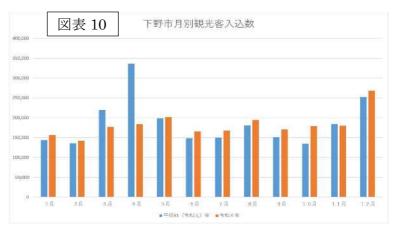
市内には、本市を代表する観光拠点である「道の駅しもつけ」や下野国分寺・国 分尼寺跡、下野薬師寺跡など、国・県・市指定の文化財が点在しています。また、 新たな魅力として、天平の丘公園の古民家カフェ、宿泊施設を備えた吉田村ビレッ ジ、三王山ふれあい公園のオートキャンプ場・ドッグラン、グリムの森のお菓子の 家が近年オープンしております。

例年、下野市観光客入込数は200万人前後を数えますが、全体の8割以上を「道の駅しもつけ」への来訪客が占め、コロナによる一時的な減少もありましたが、 下野市の観光資源の中心として観光客入込数を支えています。【図表9】



なお、「天平の花まつり」「しもつけ燈桜会」「天平の芋煮会」「グリムの森イルミネーション」など、市内で開催されるイベントでは多くの来場者で賑わい、特に、

「天平の花まつり」の 3・4月、「グリムの森 イルミネーション」の 12月は、他の月と比 べても、多くの観光客 があることが見られま す。【図表 10】



(2) 「道の駅しもつけ」利用者の状況

Tカードの利用状況に基づく来場者分析

道の駅しもつけはTカードの提携店になっており、お買い物の際、Tカードのポイントで支払い、ポイントの付与などのサービスが受けられるようになっています。 レジを通過したTカードの登録情報による市町村別の利用者の統計では、次のとお

りの結果でした。

下野市内の利用者は3位となっており、 県内では、宇都宮市、小山市、真岡市、栃 木市、上三川町、壬生町など隣接する市 町、また、茨城県筑西市、結城市のよう に、県外ではありますが下野市から15km 圏内にある地域からの利用が多くありまし た。【図表11】

以上のことから、利用者の多くが、近隣 市町からの来訪者であることが考えられま す。

その他、茨城県古河市、埼玉県春日部市、越

図表 11 道の駅しもつけ 市町村別利用者数 (令和4年9月~令和5年10月)

	(予和4年9月	~ 令和5年10月)
	市町村	利用者数(人)
1	宇都宮市	15,119
2	小山市	9,644
3	下野市	8,586
4	真岡市	6,960
5	栃木市	4,801
6	筑西市(茨城県)	4,363
7	古河市(茨城県)	3,991
8	上三川町	3,695
9	結城市(茨城県)	2,693
10	壬生町	2,083
11	春日部市(埼玉県)	1,699
12	鹿沼市	1,655
13	越谷市(埼玉県)	1,591
14	久喜市(埼玉県)	1,296
15	桜川市(茨城県)	1,252
16	益子町	1,184
17	川口市(埼玉県)	1,091
18	野田市(千葉県)	1,082
19	日光市	1,048
20	那須塩原市	1,021

谷市や千葉県野田市については新4号国道といった幹線道路を利用しての来訪が考えられます。



道の駅しもつけの売り場風景

道の駅しもつけHP



※スマートフォン等で上記QRコードを スキャンするとホームページが表示 されます。

4 下野市の観光資源

(1) 歴史遺産

下野市には、以下のとおり各地区に様々な国・県・市指定の文化財(史跡、建造物、考古資料)が点在しており、歴史遺産の宝庫であるとともに、古くから下野国

の中心であったことが分かります。

① 国指定文化財

南河内地区:下野薬師寺跡

国分寺地区:下野国分寺跡、下野国分尼寺跡、

小金井一里塚、甲塚古墳出土品

② 県指定文化財

南河内地区:薬師寺八幡宮

石 橋 地 区:児山城跡

国分寺地区:愛宕塚古墳、丸塚古墳

③ 市指定文化財

南河内地区: 六角堂、藤麿墳、道鏡塚、鑑真和尚之碑

国分寺地区:オトカ塚古墳、紫の五輪塔(伝紫式部墓)、現国分寺五輪塔、

北台遺跡(推定東山道跡)

4 その他

南河内地区:薬師寺復元回廊、下野薬師寺(旧安国寺)、地蔵山、三昧場、

御鷲山古墳、天狗山雷電神社、龍興寺、薬師寺城跡、

三王山南塚 1・2号墳 ほか

石 橋 地 区:孝謙天皇神社、開雲寺、華蔵寺、星宮神社 ほか

国分寺地区:慈眼寺、蓮華寺、甲塚古墳、山王塚古墳 ほか



甲塚古墳出土品 (機織形埴輪)



薬師寺復元回廊



六角堂



下野国分寺跡



(2) 施設

下野市には、前述のとおり豊富な歴史遺産があり、それらの資料館も充実しています。中には、高精度のCGにより再現したバーチャル映像を、ARアプリを使用して見せるサービスなどを展開しています。

その他、温浴・プール施設や公園なども充実しています。

① 資料館

南河内地区:下野薬師寺歴史館

国分寺地区:しもつけ風土記の丘資料館、栃木県埋蔵文化財センター

② 温浴・プール施設

南河内地区:ふれあい館温水プール・ふれあいの湯

国分寺地区:ゆうゆう館天平の湯(露天風呂)

③ 公園等

南河内地区:別処山運動公園、

三王山ふれあい公園(オートキャンプ場・ドッグラン)

石 橋 地 区:グリムの館・お菓子の家(グリムの森内)、

姿川アメニティパーク、大松山運動公園

国分寺地区:天平の丘公園、古民家カフェ「夜明け前」、

蔓巻公園(オートキャンプ場)、国分寺運動公園

グリムの館HP



④ 商業施設

南河内地区:道の駅しもつけ、吉田村 Village

石 橋 地 区:ゆうがおパーク(石橋地区都市農村交流施設)

⑤ その他

石 橋 地 区: JR石橋駅前からくり時計

国分寺地区:オアシスポッポ館、ケガをした電車を助けた電車(日酸公園内)



三王山ふれあい公園



ケガした電車を助けた電車



天平の斤公園

(3) 季節ごとの多彩なイベント

春の「天平の花まつり」、夏には「しもつけ燈桜会」や盆踊り・花火大会、秋には直径 2.5mの大鍋を用い約3千食分の芋汁を提供する「天平の芋煮会」、冬は「グリムの森イルミネーション」など四季を通じて多彩なイベントが開催されています。その他、神社仏閣や地域でも様々な行事が開催されています。

① 春(4~6月)

石 橋 地 区:星宮神社太々神楽

国分寺地区:天平の花まつり

② 夏(7~9月)

南河内地区:エゴマ灯明の会(下野薬師寺跡)



天平の花まつり

石 橋 地 区:しもつけサマーフェスティバル in いしばし、かんぴょうまつり、

古山のかかし祭り(星宮神社)、グリムの森フェスティバル、

石橋愛宕神社八坂祭(みんなの祭りおみこし広場)

国分寺地区: しもつけ燈桜会(天平の丘公園)、

国分寺地区コミュニティ踊り花火大会

③ 秋(10~12月)

南河内地区:吉田村まつり、薬師祭(自治医科大学学園祭)、市民農園まつり 薬師寺八幡宮秋まつり

石 橋 地 区:石橋まちなか賑わい祭、グリムの森イルミネーション、産業祭

国分寺地区: 天平の芋煮会

④ 冬(1~3月)

南河内地区:下野薬師寺跡史跡まつり

石 橋 地 区:柴燈大護摩供法要・火渡り式(開雲寺)

国分寺地区:天平マラソン、天平の桜歌会



しもつけ燈桜会



エゴマ灯明の会



グリムの森イルミネーション

(4) 自然

下野市は、温暖な気候と鬼怒川、田川、姿川の豊かな水の恵みを受けた肥沃な平野が広がる自然災害の少ない地域です。また、日光連山や筑波山、冬の空気の澄んだ日には遠く富士山を望むことができます。また、環境省の絶滅危惧種に指定されているトウサワトラノオの保全地もあります。

下野市内: 姿川、田川、鬼怒川、祇園原の松林、トウサワトラノオ ほか

下野市外:筑波山、男体山と日光連山、太平山、富士山

(5) 農産物と地産地消 【多品目の農産物・多くの直売所】

市内で生産される農作物の中には、全国生産1位のかんぴょう、県内1・2位のほうれんそう、ごぼう、きゅうり、玉ねぎ、はくさい、かぼちゃなど、全国・県内トップクラスのものが多数あり、ブランド化や地域資源を活用した6次産業化が推進されています。

また、これらの生産物を販売する直売所も多く設けられ、生産者と消費者との交流も図られています。

① 主な農産物

かんぴょう、ほうれんそう、ごぼう、きゅうり、玉ねぎ、はくさい、かぼちゃ、 米、イチゴ、キャベツ、なす、レタス、ねぎ、にんじん、かぶ、スイートコーン ほか



夕顔の実



かんぴょうを干しているところ

② 直売所・農村レストラン

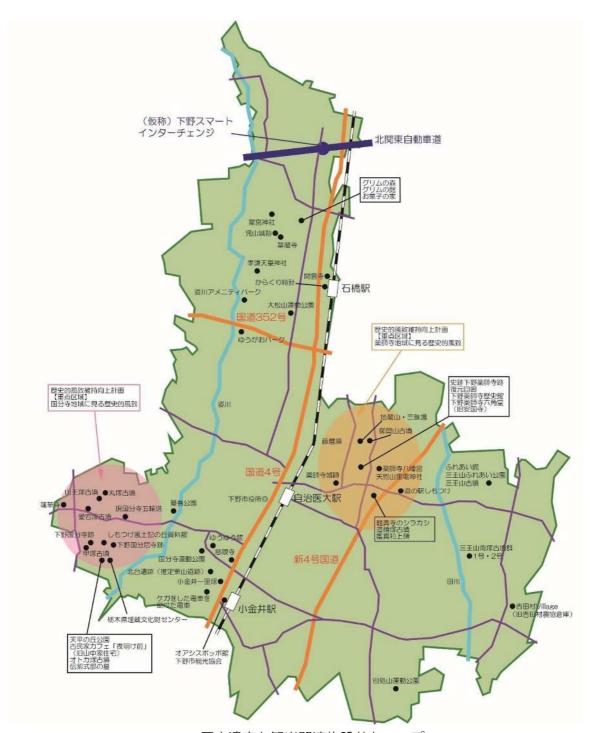
南河内地区:JAうつのみやグリーンセンター

石 橋 地 区:ゆうがおパーク(下野市石橋地区都市農村交流施設)、

JAおやま「四季彩」、中大領「やさいの停車場」

国分寺地区:ふれあいショップ国分、JAおやま国分寺農産物直売所、

しばなん直売所



歴史遺産と観光関連施設分布マップ

5 下野市の観光に関する市民アンケート調査結果

【調査概要】

第三次下野市観光振興計画の策定にあたり、下野市の観光に対する市民の方の考えや意見を調査しました。

◆調査対象 住民基本台帳から 16 歳以上の市民 2,400 名を無作為抽出

◆郵送配布 2,400 票

◆郵送回収 952票(回収率39.7%)

◆調査項目 (1)下野市の観光資源について

(2) 下野ブランド品について

(3) 輝け下野エール大使について

(4) 観光ボランティアについて

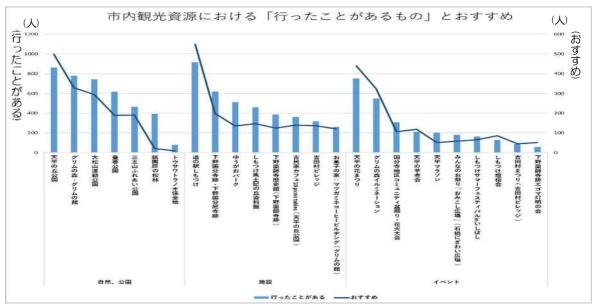
(5) 市(行政)の取組について

(6) その他自由意見

※同封(参考) 下野市観光ガイドブック、下野ブランドパンフレット

(1) 下野市の観光資源(自然・公園、施設、イベント)について

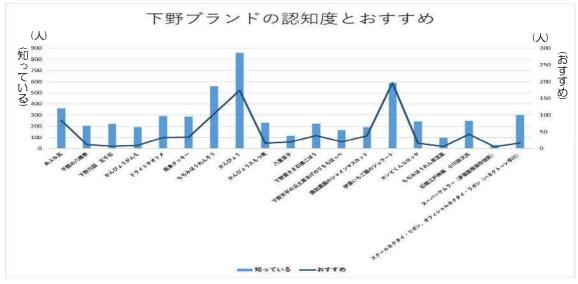
「行ったことがある」「おすすめ」の回答結果を見ますと、本市で一番の来訪者数を 誇る道の駅しもつけが最も評価が高く、また、花まつりやイルミネーションなどの 魅力あるイベントを有する公園・施設へ多くの方が行かれていることが分かります。



- ■その他おすすめしたいもの
 - ➤「姿川アメニティパーク」や「烏ヶ森公園」の桜並木
 - ▶入口が特徴的な「星宮神社」
 - >小金井駅北側にある「小山車両センター」
 - ▶倉井レストラン、竹末食堂、グリンデルベルグなどの店舗

(2) 下野ブランド品について

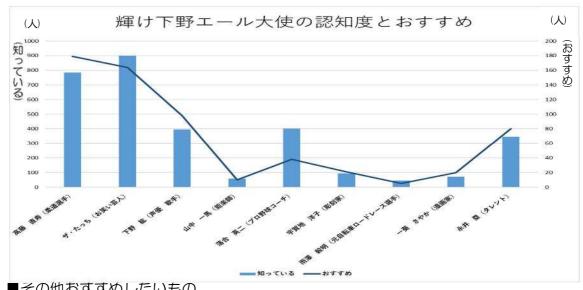
「購入または食したことがある」「購入又は食したことがないが、知っている」の2 項目で回答されたものを「知っている」としてカウントしたところ、かんぴょう、 ちぢみほうれんそうの農作物や伊沢いちご園のジェラートの認知度が高い結果であ りました。



- ■その他おすすめしたいもの
 - >下野市産の農作物(野菜)
 - ➤金子屋のあんぱん

(3) 輝け下野エール大使について

「知っている」「おすすめ」との回答結果を見ますと、お笑い芸人やスポーツ選手の 知名度の高さがうかがい知れます。

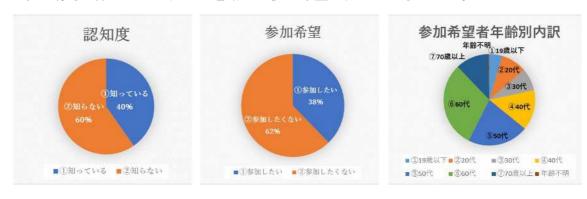


■その他おすすめしたいもの

▶三好楓花さん(ダンサー)

(4) 観光ボランティアについて

市の観光に係るボランティア活動への参加希望は次のとおりでした。



(5) 市(行政)の観光施策について

■観光施策の評価について

本市の観光施策の評価について、第二次下野市総合計画後期計画策定時(令和元年)の調査結果と比較しますと、加重平均による満足度と重要度の両方で上昇しました。

項目	満足度	重要度
今回の調査(A)	0.13	0.87
第二次下野市総合計画後期計画策定時の調査(B)	-0.07	0.52
満足度・重要度の変化(A)—(B)	+0.20	+0.35

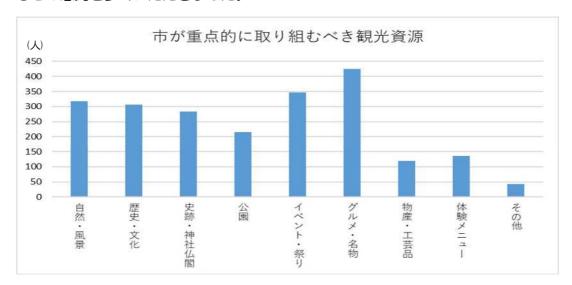
※加重平均の算出方法

満足度=(「満足」imes2+ 「やや満足」imes1- 「やや不満」imes1- 「不満」imes2) \div 無回答を除く回答者数

重要度=(「重要」 \times 2+「やや重要」 \times 1-「あまり重要でない」 \times 1-「重要でない」 \times 2)÷無回答を除く回答者数

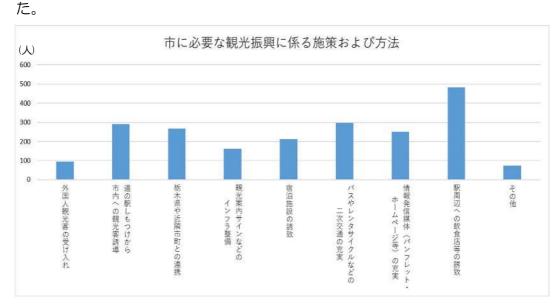
■市が重点的に取り組むべき観光資源について

市が重点的に取り組むべき観光資源は、「グルメ・名物」「イベント・祭り」であるとの意見を多くいただきました。



■市に必要な観光振興に係る施策および方法について

市に必要な観光振興に係る施策および方法について、「駅周辺の飲食店の誘致」「バスやレンタサイクルなど二次交通の充実」の順に意見が多い結果となりまし



(6) その他自由意見(一部抜粋のうえ、類似する意見はまとめています。)

≪市の観光施策について≫

- ➤観光振興にテーマがなくバラバラな感じがする。ワクワクドキドキするような 方向性・コンセプトを明確にした方がいい。
- ➤小さな魅力が意外とあるが、「下野市といったらコレ!」というキラーコンテンツがない。「イチオシ!」を創り出すことも大切。「下野市は何が有名?」と聞かれても自信をもって答えられない。
- ➤歴史や史跡、外国との交流などを十分に活かせていない。

≪下野ブランド・輝け下野エール大使について≫

- ➤かんぴょうの生産量日本一の割に、かんぴょうが日頃食べられていない、市内のレストランなどで「かんぴょう料理」を出してほしい。
- ➤下野ブランド品は名物を使うことにこだわらず、シンプルに美味しいものにした方がいい。
- ➤エール大使が地元で身近に感じられる機会があると良い。

≪農業について≫

▶農業の体験学習、下野市産の野菜・果物を使った料理教室、キャンプを組み合わせ、家族で数日過ごすなど、グリーンツーリズムの企画は観光とつながる。

≪ドイツ文化について≫

➤ドイツとの交流は貴重で、ドイツ語を学ぼうとした時、下野市に市民講座があって驚いた。国際交流員もおり、グリムの館でクリスマスイベントとイルミネーションをやっているが、広がりが不十分、ドイツらしさが薄いと感じる。クリスマスマーケットやオクトーバーフェスを下野市でもやってほしい。石橋駅からグリムの森までドイツ文化を感じる街づくりをしてほしい。

≪公園・施設について≫

- ▶子連れで遊べる施設(水遊び場やアスレチック)と体験型レジャー、宿泊施設 (廃校利用等)があれば観光客が増えて周囲も活性化する。
- ▶公園にバラやあじさい、コスモスを植えて、大人も楽しめるようにしてほしい。
- ➤愛犬家にとって、市が運営するドッグランがあることはうれしい。
- ▶もう少し整備された公園やサイクルロード、ウォーキングコースがあるといい。
- ➤石橋中学校の校舎は美しく、美術館などに利用できないか。

≪イベントについて≫

- ▶観光地としては今一つ魅力に欠けており、イベントと絡めるべき。
- ▶住民が手軽に参加できるイベント、親子で楽しめるイベントがあると良い。
- ➤B 級グルメやラーメン店を誘致したイベントがあると盛り上がる。

≪その他≫

➤公園・史跡・下野ブランド・食べ物など、数多くある下野市の観光資源について「知らなかった」「自分が住む地区以外知らない」「住んでいる場所なので、 改めて知りたい」との意見があった。

(参考資料) 下野市の観光に関するアンケート調査票

		天平の花まつり ① / ② / ③	
【下野市の観光に関するアンケート調査	:票】	Uもつけ燈桜会 ① / ② / ③	
		天平の芋煎会 ① / ② / ③	
Q1:あなたの年齢、性別についてOをつけてください。		天平マラソン ① / ② / ③	
◇年齢 ①19歳以下/②20代/③30代/④40代/⑤50代	/	グリムの森イルミネーション ① / ② / ③	
660代/⑦70歳以上		下野薬師寺跡エゴマ灯明の会 ① / ② / ③	0
◇性別 ①男性/②女性/③その他		みんなのお祭り『おみこし広場』(石橋にぎわい広場) ① / ② / ③	
Q2: あなたの現在の居住地と下野市に住んでいる期間について〇	をつけてく	しもつけサマーフェスティバル in いしばし	
ださい。	23/764	① / ② / ③ 国分寺地区コミュニティ盆踊り・花火大会	
◇居住地 ①南河内地区/②石橋地区/③国分寺地区		0/2/3	
◇市在住期間 ①1 年未満/②1~4年/③5~9年/④10~ ⑤20年以上	19年/	吉田村まつり(吉田村ビレッジ) ① / ② / ③	
00. +5+-0999-0170+01774-11		Q5:下野プランド品、輝け下野エール大使、ご当地ゆるキャラ ん」について、それぞれ、次の①~②のいずれかに○をつけてく	
Q3:あなたの職業について〇をつけてください。	and water at	また、おすすめしたいものにチェックを入れてください。(複数	
①会社員/②自営業/③公務員/④主婦/⑤学生/⑥パート・ア	יוטויי	【①購入または食したことがある。/②購入または食したことは	
⑦無職/8その他()	-	ている。/3知らない。】	acid, Ado
		《下野ブランド品》	ಕುತ್ತಾರು
Q4:下野市の観光資源について、それぞれ、次の①~③のいすれ	かに〇をつ		23990
けてください。			
また、おすすめしたい施設やイベントなどにチェックを入れてく	ください。	干額の八幅巻 ① / ② / ③	
(複数回答可)		下野乃国 五千石 ① / ② / ③	
【①行ったことがある。/②行ったことはないが、知っている。/③5	nsæu. 1	かんびょうがんも ① / ② / ③	
《自然・公園》	おすすめ	ドライトチオトメ ① / ② / ③	
		風車クッキー ① / ② / ③	
天平の丘公園 ① / ② / ③		ちちみほうれんそう ① / ② / ③	
		かんびょう ① / ② / ③	
祇園原の松林 ① / ② / ③		かんびょう入もつ煮 ① / ② / ③	
グリムの森・グリムの館 ① / ② / ③		八重草子 ① / ② / ③	- 0
大松山運動公園 ① / ② / ③		下野雷さま石橋ごぼう ① / ② / ③	
三王山ぶれあい公園 ① / ② / ③		下野天平の丘土産あげのりもちほっぺ ① / ② / ③	
			10
トウサワトラノオ保全地 ① / ② / ③			
≪施設≫	おすすめ	伊澤いちご園のジェラート ① / ② / ③	
下野国分寺跡・下野国分尼寺跡 ① / ② / ③		カンビくんコロッケ ① / ② / ③	
しもつけ風土記の丘資料館 ① / ② / ③		ちぢみほうれん草豆富 ① / ② / ③	
下野薬師寺歴史館(下野薬師寺跡) ① / ② / ③		ここからは、【①知っている、/②知らない。】のどちらかに〇	1
道の駅しもつけ ① / ② / ③		をつけてください。	
	200	石橋江戸神輿 小川政次氏 ① / ②	
		スーパーケムラー (茅葺屋根保存技術) ① / ②	
お菓子の家:マツガミネコーヒービルチング(グリムの館)	3	スクールネクタイ・リボン、オフィシャルネクタイ・リボン	
0/2/3		(ハネクトーン早川) ① / ②	
古民家カフェ 10 picnic tables (天平の丘公園)		D THE STATE OF THE	
0/2/3			
吉田村ビレッジ ① / ② / ③			
≪輝け下野エール大使≫	おすすめ	Q9:下野市では、イベントの準備や観光案内・史跡案内、公園の3	掃など、
高藤 直寿(柔道選手) ①知っている。/②知らない。		これまで、多くのボランティアの方に協力していただいております。	このよう
ザ・たっち(お笑い芸人) ①知っている。/②知らない。		な観光に係るボランティア活動について知っていますか。また、ボ	ランティア
下野 紘(声優 歌手) ①知っている。/②知らない。		への参加希望について教えてください。	
山中 一馬 (能楽師) ①知っている。/②知らない。		◇間知度 ①知っている。/②知らない。	
[175] [18] - [17] [18] [18] [18] [18] [18] [18] [18] [18	1 -	◇参加希望 ①参加したい。/②参加したくない。	
落合 英二(プロ野球コーチ)	1		
①知っている。/②知らない。		Q10:下野市(行政)の観光施策に関し、あなたの考える満足度及	び重要度に
宇賀地 洋子(彫刻家) ①知っている。/②知らない。		ついて教えてください。	3.0
雨澤 殺明(元自転車ロードレース選手)		◇満足度 ①満足/②やや満足/③やや不満/④不満	
①知っている。/②知らない。		◇重要度 ①重要/2やや重要/3あまり重要でない/④重要で	361
一葵 さやか (漫画家) ①知っている。/②知らない。		prepriitation programment in the second of t	227.00-00-0
永井 塁 (タレント) ①知っている。/2知らない。		Q11:その他、下野市の今後の観光振興等について、ご意見やご問	部型をご記
	in the second section of the second	入ください。	
≪ご当地ゆるキャラ≫	おすすめ	(自由記述)	
カンピくん ①知っている。/②知らない。			
6:前間のQ4、Q5で挙げたもの以外で、下野市の観光資源とし	して紹介した		
ものがあればご記入ください。			
(自由記述)			
100 cc 10			
		アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。	
		ノンソートは以上です。と無力のりかとうことがました。	

≪祭り・イベント≫

ಚಿತ್ರತು

Q7: 今後、下野市が重点的に取り組むべき観光資源はどのように考えますか。(複数回答句)
①自然・風景/②歴史・文化/③史跡・神社仏閣/④公園/
⑤イベント・祭り/⑥グルメ・名物/⑦物産・工芸品/⑥体験メニュー/ ⑨その他(

②8: 下野市に必要な観光振興に係る施業及び方法について、あなたのお考え に近いものはありますか (複数回答可) ①外国人観光客の受け入れ/②道の駅しもつけから市内への観光客誘導/ ③栃木県や近隣市町との連携/④観光案内サインなどのインフラ整備/ ⑤宿泊施設の誘致/⑥/バスやレンタサイクルなどの二次交通の充実/ で、情報発信媒体 (パンフレット・ホームページ等) の充実/ ⑧駅周辺への飲食店等商店の誘致/ ②その他(

6 下野市の観光の課題(観光及び観光資源に求める効果) 課題1 観光客入込数の増加(人を呼び込む)

下野市には、下野国分寺・国分尼寺跡、下野薬師寺跡等の貴重な文化財が点在する歴史文化や、グリムの館をはじめとするドイツとの国際交流を通じて育くまれたドイツ文化が根付いています。また、豊かな自然・農作物、季節ごとの観光イベントなど、これまで受け継いできた歴史・文化・自然は地域の宝であります。多くの魅力が存在し、住みやすいといった地域性・強みがある反面、観光としての色が出し切れていない状況にあり、既存施設やイベントごとに、集客力をさらに高めるよう努めることはもちろんのこと、観光テーマやエリアを絞って取り組むことも必要であります。また、本市が位置する栃木県南地域の観光は、県北地域と比較すると若干劣っていることが否めないため、広域連携など、観光PR方法に工夫が求められます。

課題2 地域経済への波及、まちなかの賑わい創出(人を滞留させる)

下野市内の駅前など市街地にある商店は、少子高齢化や買い物行動の変化に伴い、商店街の衰退、空き店舗の増加が進行しています。まちなかの賑わいの再生は、市内の経済循環を促し地域の活性化が期待されることから、地域経済の発展に向けては、市内に人を滞留させる必要があります。市内には、歴史遺産である史跡やドイツをテーマとしたグリムの館などの観光施設を中心に特色的なテーマ性のあるエリアが存在し、また、交流施設である「道の駅しもつけ」も存在します。そこで、各施設が核となって周辺地域の観光関係者との相互協力体制を構築するとともに、下野市観光協会を中心とする市全体の連携体制づくりが求められます。また、市内における周遊性は、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりにおいて課題の一つでもあり、公共交通・二次交通の充実に関しても引き続き検討する必要があります。

課題3 シビックプライド(郷土愛・第2のふるさと)の醸成

観光振興による効果は、下野市の認知度向上、観光誘客にとどまらず、シビックプライドの醸成などによる人口流出の抑制や定住人口・関係人口の増加など、地域社会経済への好循環が期待できます。居住する方々にも下野市の良さを知ってもらうことが、市内の身近なところで楽しむ、他者に紹介・案内するといった活動や交流につながり、市内の賑わいや活気の創出、観光客の増加や定住人口・関係人口の増加につながるものと考えます。

第3章 下野市の観光振興の基本方針

1 基本方針

少子高齢化の進行と人口減少社会の到来、全国的な生産年齢人口の流出により、本市においても、地域活力の低下が懸念され、観光客による消費を地域産業へ波及させることで地域の持続性・活性化が期待できます。

下野市が有する多くの歴史・文化や自然、吉田村ビレッジといった近年オープンした 新たな施設などの観光資源を活用し、魅力の創出、集客力向上に努めるとともに、特色 あるテーマ性の見せ方を工夫し、観光関係者との連携を密にして、適切な情報発信に努めることで、地域への波及効果を最大限引き出していく必要があります。本市の歴史的 特性である「東の飛鳥」は、インパクトを持たせて記憶に残せる個性的なロゴマーク・キャッチコピーとしても「ウッテツケ」であり、観光 PR やシティセールスなど、本市の観光振興における施策展開に積極的に活用します。

これらを踏まえ、本計画では、第二次下野市総合計画後期基本計画の基本施策「魅力あふれる観光まちづくり」において目指すべき姿として掲げた「多彩で魅力的な地域資源を活かした観光まちづくり」を推進するとともに、SDGs に対応した将来に渡り持続可能な観光地域づくりを基本方針とします。

2 指標

指標については、前計画に引き続き、下野市観光客入込数とし、観光客入込数の対象施設等が個々に目標とした数値をもとに設定します。なお、「道の駅しもつけ」は市全体の約8割を占め、本計画では、その他の施設等への誘客を強化すべきとの考えから、数値目標については、「道の駅しもつけ」を除く観光客入込数とします。

数値目標では、計画最終年の令和 10(2028)年における観光客入込数を 691 千人とし、計画の 5 年間で 200 千人の増加を図ります。

下野市観光客入込数(「道の駅しもつけ」を除く)年次別目標数 【単位:千人】

年	R6	R7	R8	R9	R10
	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)
目標数	606	626	647	669	691

※現状値≪令和5(2023)年≫・・・491千人

第4章 下野市の観光振興アクションプラン

1 施策•事業一覧

<u></u>		肔朿•事業一覓	
基		短策1 魅力ある観光の推進	
	施		
		事業 1-1-① 東の飛鳥プロジェクトの推進	24
		事業 1-1-② 観光案内媒体の充実と効果的な情報発信・PR活動	25
		事業 1-1-③ 文化財案内媒体の充実	26
	施	策1-2 観光関係者の連携	
		事業 1-2-① 観光関係者との連携及び観光事業の展開	27 28
		事業 1-2-② 観光移動手段としての二次交通の検討	28
		事業 1-2-③ 観光イベントのブラッシュアップ及び創出	29
		事業 1-2-④ 道の駅しもつけへの誘客強化	30
	施	策1-3 観光施設の環境整備・充実	
		事業 1-3-① 天平の丘公園再整備	31 32
		事業 1-3-② サイクリングルートの整備	32
		事業 1-3-③ 下野薬師寺歴史館への誘客強化	33
		事業 1-3-④ キャンプ場及びドッグランの充実	34
		事業 1-3-⑤ 市内における宿泊施設(ホテル・旅館等)の誘致	35
	施	策1-4 郷土愛の醸成	
		事業 1-4-① 郷土学習(ふるさと学習)の推進	36
		事業 1-4-① 郷土学習(ふるさと学習)の推進 事業 1-4-② 文化財観光ガイドボランティアの育成・支援	37
		事業 1-4-③ 天平の丘観光ボランティアの会への支援	38
基		短策2 観光資源の創出	
	施	策2-1 新たな観光資源の開拓	
		事業 2-1-① 下野市におけるグリーン・ツーリズムの推進	39
		事業 2-1-② まちなかの賑わい創出	40
		事業 2-1-③ 天平の丘公園古民家カフェを拠点とする魅力創出・発信	41
		事業 2-1-④ しもつけ風土記の丘資料館への誘客強化	42
		事業 2-1-⑤ グリムの森・グリムの館の魅力発信及び誘客促進	43
	施	策2-2 下野ブランドの活用	
		事業 2-2-① 下野ブランド・輝け下野エール大使・イメージキャラクターの活用	44
	施	策2-3 広域観光の推進	
		事業 2-3-① 栃木県・他自治体との連携による観光誘客の強化	45
		事業 2-3-② 栃木県スポーツコミッションとの連携	46
基		短策3 インバウンド対策	
	施	策3-1 外国人観光客の誘客	
		事業 3-1-① 外国人観光客の誘客	47
		事業 3-1-② 国際感覚豊かな人材育成	48
\•/	=-	h左端の物字は、冬恵業の規載ページです	

※表中右端の数字は、各事業の掲載ページです。



SUSTAINABLE GOALS



2 施策展開

基本施策 1 魅力ある観光の推進 施策 1 - 1 観光プロモーションの推進【重点施策】

事業	1-1-①	東の飛鳥プロジェクトの推進				
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	また。 本で、またす 内機剥ぎ ででででででででででででででででででででででででででででいる。 本でも、ではるし、できないででででででででででででできます。 またも良そしまでででででででででででででででででいる。 またも良そしまでででででででででででいる。 またも良そしまででででででいる。 またも良そしまででででできます。 またも良をは、またもは、またも良をしまいでででででできます。 またも良をは、またものでででででいる。 またも良をは、またものででででででいる。 またも良をは、またものでででででできます。 またも良をは、またものでは、またも良をは、またも良をしまいます。 またも良をは、またものでは、またもしまでは、またもしまでは、またものででは、またものでは、また。	かな自然と穏や はるか昔から け古墳群から下 代にかけては東 歴史的特性をわ	かくの で	夢野跡を シャック とこれ から とり かっかい かいり かいり かいり かいり かいり かいり かいり かいり かいり か	た。 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で
		●「東の飛鳥]	 プロジェクト」	によるシティ†	セールスの推進	
		●市内小学校との連携事業(出前講座)				
主な	な取組	●エゴマ灯明の会の開催				
		●PRグッズ・パンフレットの作成・販売				
		● しもつけ風 <u>:</u> 座の実施	土記の丘資料館	及び下野薬師	寺歴史館での親	子向け体験講
	(項目)		_		※基準値	
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	_	_	_	_	_
所管課文化財課						
関係	系団体	しもつけ風土語	記の丘資料館・	下野薬師寺歴史		
SDGs	への貢献	4 MARIE 8 22500 M	11 too series 17 series 18 series 19 series			

事業	1-1-2	観光案内媒体の	の充実と効果的	な情報発信・F	PR活動	
下野市の観光関連施設やイベントなどの情報について、下野市Hしもつけシティガイドを活用し、適宜、情報発信を行うとともに、Sによる情報拡散や観光ガイドブックなどの媒体の充実を図ります。た、市観光案内やイベントなどの情報発信の場として、道の駅しもでも当後を入ります。でのイベントなどにPRブースを設置するなど、市内外からの誘客があます。その他、観光施設や店舗等の検索で多くの利用があるGoogle Maのアプリ活用による情報発信について、観光協会会員などを中心に対促進を図ります。					ともに、SNS 図ります。ま の駅しもつけ るほか、市内外 いらの誘客に努 Google Maps	
		●Google Mapsアプリの活用促進(ビジネスオーナー登録・施設等 データ更新)				
		●イベント等でのPR活動				
主な	取組	●市HP等の更新				
		●SNSの利活用による情報の拡散				
	(項目)		sアプリへのビi (声掛けによる		※基準値 (令和4年度)	—
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	10件	10件	10件	10件	10件
所管課商工観光課						
関係団体		下野市観光協設	<u></u>			
SDGs	への貢献	8 32222 11 5555554 11 5555554	17 sine add. 25			

事業	1-1-3	文化財案内媒体	本の充実			
事美	《内容	HP)で公開を 市内の文化り マッとで新たり を案内を、下野は また、下野は の3D映像(V す。このスト	行っています。 財を巡りたい時	は、バーチャだまでのルートでは、 までのルートで れた場合には、 プリ「ストリー ですなどの史跡ですによるガイアムの活用に	ルミュージア/ 案内が表示され、適宜更新のう ートミュージア では、現地で イドが視聴する	にます。発掘調 うえ分かりやす アム」を活用す CGによる当時 うことができま
		●ストリートミュージアムの公開				
		●バーチャルミュージアムの公開				
主な	は阻	●ユーチューブ動画の公開				
	(項目)		_		※基準値	
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	_	_	_	_	_
所管課		文化財課				
関係	系団体		_	_		
SDGs	への貢献	4 3000000				

施策1-2 観光関係者の連携

市世		知い即次子と		申業の屈囲			
事業 	1-2-①		の連携及び観光				
下野市への来訪のきっかけは、史跡めぐりやイベント、食事やスポツなど多種多様であります。施設やイベントごとに魅力を強化・創出るための取組や、地域間の観光関係者との連携・相互協力を通して、訪者の増加や地域周辺への波及などの相乗効果が期待できます。市内の歴史文化やドイツ文化といった特色ある観光エリアや吉田村レッジなどの新観光エリアにおける、エリアごとの地域間連携体制を築するとともに、下野市観光協会が中心となり、市内に点在する観光、リア全体を取りまとめ、市全体の観光における連携体制及び観光事業の支援体制を構築します。					登強化・創出す 可を通して、来ます。 リアや吉田村ビ 関連携体制を構 ででる観光エ		
		●連携体制構築のための観光関係者の洗い出し					
		●海推体判における組出関係者との物業なが声業の海推					
		●連携体制における観光関係者との協議及び事業の連携 					
主な	な取組	●観光関係者(観光事業)への支援					
		 ●観光情報の発信					
	(項目)	観光事業へのま	支援件数(観光	協会)	※基準値 (令和4年度)	<u>—</u>	
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	(目標値)	3件	3件	3件	3件	3件	
所管課商工観光課							
関係団体 下野市観光協会							
SDGsへの貢献 Republic To The Control							

事業	1-2-2	観光移動手段。	としての二次交	通の検討		
高齢化の進行に伴い自動車の運転に不安を持つ方が多く、デマ通・路線バス等の二次交通への需要が高まっています。 市内における二次交通の充実・利用を促進するとともに、将来市民だけでなく観光等による来訪者の移動手段として広げていくについて、下野市の交通事情等を総合的に勘案し、広域的な二次含め、地域公共交通会議で検討します。 事業内容					に、将来的には ずていく可能性	
		●地域公共交通会議(年3回)				
		●観光協会と連携したレンタサイクル(観光自転車)の利用促進				
主な	取組	●既存のデマンド交通や路線バスの運行形態の見直し				
		●新たな移動手段の導入検討				
	(150)				ツ甘浩広	
	(項目)		_		※基準値	
数値目標	/ C += / + \	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	_	_	_	_	_
所管課		安全安心課				
関係団体				_		
SDGs	への貢献	9 111111	10 state 11 section 11 sect	13 SERGII: 17 SERGELS		

事業	1-2-3	観光イベントのブラッシュアップ及び創出					
事業内容		天平の丘公園で、季節ごとに開催される観光イベント(天平の花まつり、しもつけ燈桜会、天平の芋煮会)は、今後も継続して実施すべき、本市のレガシーであり、市民の誇りにもなっています。しかし、コロナ後、来場者のイベントの楽しみ方や意識の変化が見られるなど、イベント開催にあたり、来場者のニーズや時代の動向を的確にとらえ、多くの方に満足いただける安全安心なイベントへとブラッシュアップしていく必要があります。 既存イベントにおいては、関係団体等との協議・協力のもと改善を図り、また、新規イベントについても、研究のうえ、新たな魅力創出に向けて取り組みます。					
主な取組		●既存イベン ブラッシュア: ●新イベントの		つり・天平のき	芋煮会・しもつ	け燈桜会)の	
	(項目)	天平の丘公園で	での観光イベン	90,000人			
数値目標	(目標値)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		190,000人	200,500人	211,000人	221,000人	231,000人	
所管課		商工観光課					
関係団体		下野市観光協会					
SDGsへの貢献		11 BORNAN 12 CONTROL 17 CONTROL 18 CONTROL 17 CONTROL 18 CONTROL 1					

事業	1-2-④	道の駅しもつけへの誘客強化					
事業内容		野菜などの地域 これまで、 め、さらなる	易産業を支える 大手コーヒーチ 誘客に向け取り の強みである道	拠点の一つとな エーンの誘致 ^な 組んできました	まっています。 や駐車場拡張 • き。	が、また、地元 遊具整備を進 が大し、来客	
主な取組		●各種イベント開催●周辺施設等との連携					
		●新規誘客施設等の導入検討					
	(項目)	道の駅しもつ! 用者含む)	けへの年間利用者数(市内利 ※基準値 (令和5年)			2,486,835人	
数値目標	(目標値)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		2,500,000人	2,520,000人	2,540,000人	2,560,000人	2,580,000人	
所管課		商工観光課					
関係団体		道の駅しもつけ					
SDGsへの貢献		8 #### 12 000 17 ####### 17 #####################					

施策1-3 観光施設の環境整備・充実

事業	1-3-①	天平の丘公園					
事業 1-3-①		天平の丘公園再整備 天平の丘公園は、例年、4月の天平の花まつり、7月のしもつけ燈桜会、11月の天平の芋煮会を開催し、イベント開催時は多くの来場者で賑わいます。 しかしながら、老木化する桜の更新や鬱蒼とする平地林の環境改善、 老朽化した施設の改修など、管理上の課題が数多くあることから、計画的な整備により、安全安心で快適な公園環境を整え、イベント開催時のみならず、年間を通じて集客が見込める賑わいのある公園へと整備を進めます。 本市では、天平の丘公園再整備基本計画を基に令和3年度から再整備を開始し、短期計画期間とした令和7年度までの5年間において、社会資本整備総合交付金を活用した園路等の整備やトイレ・駐車場の改修などを進めています。また、10年間の長期計画期間では、桜の更新や平地林への季節の花木・草花などの環境づくりを進めます。					
主な取組		●水遊び場整備●国見山周辺園路整備●案内看板の設置					
		●桜の補植●季節の草花等の環境づくり					
	(項目)	桜の補植			※基準値 (令和4年度)	<u>—</u>	
数値目標	(目標値)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		20本	20本	10本	10本	10本	
所管課		商工観光課					
関係団体							
SDGsへの貢献		3 ENCARE 10 ANGEST 11 ANGEST 13 ANGEST 15 ANGEST 17 ANGEST 17 ANGEST 18 ANGES					

事業	1-3-2	サイクリング	レートの整備			
事為	《内容	栃木県自転車活用推進計画の目標の一つである「サイクルツーリズムで成長する"とちぎ"」の推進において設定された、県東地域モデルルート「栃木県サイクリングルート"鬼怒川・八溝サイクルルート"」及び県南地域モデルルート「栃木県サイクリングルート "わたらせ8″」の2ルートが下野市内を通るルートとなっており、対象道路の自転車専用レーンの整備を進めます。 また、河川の沿岸住民・河川占用者・利水者のほか各種団体の協力を得て、河川敷のゴミを一掃することにより、河川及び河川敷のサイクリングロードを美しく保ち、河川愛護意識の醸造等を図ることを目的にクリーン作戦を実施します。				
主な	印 組	●姿川クリー:	フリングルート ン作戦 川クリーン作戦		各の自転車専用	レーンの整備
	(項目)		_		※基準値	<u>—</u>
数値目標	, · · ·	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	_	_	<u> </u>	_	_
所	管課	建設課				
関係	系団体	栃木県、鬼怒川	・小貝川流域ネ	マットワーク会議	人 国土交通省	下館河川事務所
SDGs	への貢献	3 155545 11 555454 -W-	13 SARTE: 14 SORVER	15 kneeds 17 weeks 27		

事業	1-3-3	下野薬師寺歴史	史館への誘客強	化			
事美	《内容	下野薬師寺歴史館及び国指定史跡下野薬師寺跡は、近隣に伝説が多く 残る社寺なども存在することから、「街なみ環境整備事業」において、 周遊性を高めるための周辺道路の整備等を実施します。 道の駅しもつけをハブスポットとして、下野薬師寺歴史館周辺への誘 導を図るため、下野薬師寺ボランティアの会と連携した道の駅しもつけ から下野薬師寺跡を巡るウォーキングイベントなどを開催し、下野薬師 寺歴史館への来館者を増やすためのソフト事業の充実を図ります。					
		●街なみ環境整備事業(道路の美装化)					
		●史跡めぐりウォーキングの開催					
主な	で取組	●文化財関連パンフレットの配布					
	(項目)	下野薬師寺歴9	史館への年間来	館者数	※基準値 (令和5年)	5,782人	
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	(目標値)	6,000人	6,000人	6,000人	6,200人	6,200人	
所	所管課文化財課						
関係	系団体	下野薬師寺歴史	史館				
SDGs	への貢献	4 Notice 17 Note-both					

事業	1-3-④	キャンプ場及び	びドッグランの	充実			
事為	《内容	する三王山ふる ンプ場でも、 アフターコ は、キャンプ や施設の充実	れあい公園のキ 多くの利用が見 ロナにおいても を取り巻く環境	ャンプ場・ド られます。 5、利用者数を や利用者ニー り、市及び指	ッグラン及び ・ 維持・拡大し ズを的確に把握		
		●キャンプ場拡充(サイト増設等)に向けた検討及び整備					
		●ドッグラン充実(夏季利用環境の向上等)に向けた検討及び整備					
主な	取組	●遊具拡充(インクルーシブ遊具整備等)に向けた検討及び整備					
		●指定管理者による公園PR及びイベント開催へのサポート					
	(項目)	三王山ふれあい プ場年間利用で	ハ公園及び蔓巻	公園のキャン	※基準値 (令和5年)	17,815人	
数値目標		今和6年度	ョ <u>級</u> 令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
X(12.2) 12.	(目標値)	18,000人	18,100人	18,200人	18,300人	18,400人	
所管課都市計画課					•		
関係	系団体			_			
SDGs	への貢献	11 mandaná 11 mandaná 12 mandaná 12 mandaná 13 mandaná 13 mandaná 14 mandaná					

事業	1-3-⑤	市内における	音 泊施設(ホテ	ル・旅館等)(の誘致		
事業	美 内容	現在、市内における宿泊施設の数は限られていますが、市内には自治医科大学が立地し、その附属病院もあることから、その利用者や市内JR3駅の利用者など、宿泊施設のニーズが見込まれます。また、観光に関する市民アンケートの調査結果では、市に必要な観光振興に係る施策および方法として、宿泊施設の誘致が意見にあがっており、宿泊施設の立地により、市内の主要な観光資源である国分寺・国分尼寺跡周辺のエリアや、下野薬師寺跡周辺のエリア、グリムの森周辺のエリア、道の駅しもつけ周辺のエリア等における滞留性、回遊性の向上、誘客強化が期待されます。これらのことから、宿泊施設誘致に係る優遇施策等の諸制度を整備し、そのPR等をすることで、市内市街地及び田園地域内おける宿泊施設の誘致を図ります。					
		●誘致方針の明確化					
		●誘致に係る諸制度の整備					
主な	取組	●誘致制度のPR等					
		●官民連携の推進					
		●長期的な視点での取組み					
	(項目)		_		※基準値	—	
数値目標	(C+++)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	(目標値)	_	_	_	_	_	
所管課 総合政策課							
	系団体	. 5 = 5 (7)					
SDGs	への貢献	8 ******* ****************************					

施策1-4 郷土愛の醸成

事業	1-4-①	郷土学習(ふる	るさと学習)の				
事美	美内容	市民自身が下野市の歴史、文化を知り、愛着をもつといった郷土愛の 醸成が必要です。そのために、副読本「下野市の伝説」や「下野ふるさ とかるた」などを活用しています。 小・中・義務教育学校では、ふるさとへの誇りや愛着を育てるため に、ふくべ細工等の体験活動を行います。また、テキスト「しもつけ未 来学習」の活用を図り、ふるさとに誇りをもち、英語で自分の思いや考 えを発信する力を育てます。					
		●ふるさと学習の実施(ふくべ細工等の体験活動の実施)●下野市の伝説、下野市ふるさとかるたの販売による市民への周知					
主な	取組	●下野市の伝説、ふるさとかるたなどの活用					
		●テキスト「しもつけ未来学習」の活用					
	(項目)		_		※基準値		
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	(目標値)			_			
所	管課	学校教育課					
関係	系団体			_			
SDGs	への貢献	4 3-521 575 17 6-54-3-75 75 3-5					

事業	1-4-2	文化財観光ガー	イドボランティ	アの育成・支持	爰	
事美	《内容	ボランティア 集及び講座を また、併せ	士記の丘資料館 」について、二 再開し、文化財 てイベントボラ 爰も継続的に行	ロナの影響に。 を活用した観 り ンティアの募	より一時中止し 七の振興を図り	ノていた人員募 ます。
主な取組			ア養成講座の開		ボランティアの	会支援
	(項目)	ボランティア語	養成講座の開催		※基準値 (令和4年度)	
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	20	30	30	30	30
所	管課	文化財課				
関係	系団体					
SDGs	への貢献	4 3-441 17 ##4-2015				

事業	1-4-3	下野市天平の船	丘観光ガイドボ	ランティアの名	会への支援	
事業内容		活動の場とし、イドを実施して 園の草花管理に近年、会員が	ています。また に協力していた が減少し、人員 光ガイドボラン	期間に、来場、 、年間を通し だいています。 確保の問題に	者を対象に公園 て、天平の丘2 直面しているこ	国全体の観光ガ 公園の万葉植物 ことから、下野
主な取組		●下野市天平の	の丘観光ガイド	ボランティアの	の会への支援	
	(項目)	天平の丘観光ス	ガイドボランテ	ィアの増員	※基準値 (令和4年度)	—
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	2人	2人	2人	2人	2人
所管課 商工観光						
関係	系団体	下野市観光協会				
SDGs	への貢献	4 Martinese 17 Martinese 18 April 17 Martinese 18 April 1				

基本施策2 観光資源の創出 施策2-1 新たな観光資源の開拓

事業	2-1-①	下野市における	るグリーン・ツ	ーリズムの推議	<u> </u>	
下野市は、豊かな自然と田園風景が広がる農村地域があり、農産どのグリーン・ツーリズムに「ウッテツケ」の環境があります。				5ります。生産であるスイート 3の農産物の販売機構を流施設 3市農業公社の		
		●農業体験イベント等の実施				
		●かんぴょう祭りの実施				
主な	菜取組					
	(項目)	ゆうがおパーク	ワへの年間来客	数	※基準値 (令和5年)	165,665人
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	178,000人	187,000人	196,000人	206,000人	216,000人
所	所管課農政課					
関係	系団体	企業組合すがな	こがわ、下野市	農業公社、シー	Eツケクリエイ	ティブ
SDGs	への貢献	8 assut	12	15 Febbook 17 Millerance 18 Febbook 17 Millerance 18 Febbook 18 Fe		

事業	2-1-2	まちなかの賑れ	つい創出			
事美	《内容	下野市内の商店街への買い物客の減少や空き店舗の増加は、地域経済の発展やまちなかの賑わいづくりにおいて課題となっています。 下野市商工会、石橋商工会は、地域に根付いた組織であり、地域の課題を的確に捉え、商工業のプロの目線から創業支援やまちなかでのイベント開催など効果的な事業を展開しています。 まちなかの賑わいは、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりに直結することから、商工会等の関係機関と連携して、駅前などの商店街や賑わいの再生、新規店舗の開業につながる取組を検討し、実施します。 なお、石橋にぎわい広場の管理運営方法については、広場の利用増加や賑わい創出につなげるため、関係者と協議のうえ検討します。				
●創業支援●産業祭開催主な取組●石橋にぎわい広場の管理運営方法の検討						
	(項目)	空き店舗奨励会	金等活用件数		※基準値 (令和4年度)	3店舗
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	3店舗	3店舗	3店舗	3店舗	3店舗
所	管課	商工観光課				
関係	系団体	下野市商工会	• 石橋商工会			
SDGs	への貢献	8 acces 9 accessor	11 Sept. 15 A 17 A 194 C 1957 C 1958			

中光	210	エ双の氏が国	+足家カフェを	からとする蚌ュ	h合山 , 科 仁		
事業 ————	2-1-3		ち民家カフェを				
事美	美内容	近年注目される「ウェルビーイング(well-being)」は、幸福ない態、充実した状態などの多面的な幸せを表す言葉であり、観光分野にないては、地域の資源に触れ、交流などを通して、心と体の健康に気づら旅、新しい発見と自己開発ができる旅、リフレッシュし明日への活力で得る旅が該当します。 天平の丘公園では、豊かな自然、歴史文化、イベント時には地域のでとの交流に触れ、ゆったりとした時間を過ごす環境が整っており、までにウェルビーイングに「ウッテツケ」の場となっています。 天平の丘公園古民家カフェ及びイベント企画の運営を担う事業者により、その魅力を最大限に活用し、多くの来園者で賑わうウェルビーイングな公園運営に努めます。 なお、古民家カフェの管理運営方法については、次期運営事業者ので定事務の前に、現状の把握・分析のうえ関係者と協議し、より効果の持行できる方法を検討します。					
		●古民家カフェ運営事業者との協議・調整					
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					
		●古民家カフェ運営事業者による賑わいづくり					
主な	取組	●公園の管理運営方法の検討					
		●古民家力フェの次期運営事業者の選定					
	(項目)	天平の丘公園で	ち民家カフェヘ	の年間来客数	※基準値 (令和5年)	31,812人	
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	(目標値)	32,500人	32,500人	33,500人	34,500人	35,500人	
所	所管課 商工観光課						
関係	系団体						
SDGs	への貢献	3 KARAL II BURNSHA	17 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)				

事業	2-1-④	しもつけ風土詞	己の丘資料館へ	の誘客強化		
事美	《内容	しもつけ風土記の丘資料館では、市内外からの小学校課外授業の受け入れや、体験型の勾玉づくり・埴輪づくりなど、下野市の歴史文化を学ぶ機会を提供しています。 当資料館は天平の丘公園内に位置していますが、天平の花まつりの来場者であっても、資料館や下野国分寺跡・尼寺跡があることは知らなかったといった声があることから、当公園で開催されるイベント時に、資料館や近隣史跡に来て貰うための工夫を施し、誘客強化に努めます。 その他、体験型企画の充実を図るなど、資料館の魅力向上に努めます。				
		●小学校課外授業受入れの充実				
		●天平の丘公園でのイベント時における資料館のPR				
主な	取組	●体験型企画の検討・実施				
	(項目)	しもつけ風土 数	記の丘資料館へ	の年間来館者	※基準値 (令和5年)	11,853人
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	12,000人	12,000人	12,500人	12,500人	13,000人
所管課文化財課						
関係	系団体					
SDGs	への貢献	4 **** 17 ******************************				

事業	2-1-⑤	グリムの森・2	ブリムの館の魅	力発信及び誘怒	字促進	
事美	《内容	イツ文化をモーマれ家族連れています。は、市内外のででいるとの流協会との意	チーフとする建 で賑わっている また、グリムの う多くの方が来 への誘客促進に	物からなり、[の森イルミネー 園して、各種 で施設全体を がら、従来の	園内に大小の複の家など人気の つ家など人気の -ションなど各 イベント情報の 有効活用すべく イベントの見値)カフェが営業 種イベントで)効果的な発信 (、本市国際交 重しや集客性の
		●既存イベントのリニューアルや新規イベントの検討・実施				
		●施設利用団体との連携(共催事業の検討等)				
主な	取組	●施設全般及び各種イベントにかかる効果的な情報発信				
	(項目)	グリムの森・2	グリムの館への	年間来園者数	※基準値 (令和5年)	168,178人
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	169,000人	169,500人	170,000人	170,500人	171,000人
所管課生涯学習文化課						
関係	系団体	グリムの里いり	」ばし、下野市	国際交流協会		
SDGs	への貢献	8 decité 11 despire	17 seriamin			

施策2-2 下野ブランドの活用

- 1307K		· - •	1 42/0/13				
事業	2-2-1	下野ブランド・輝け下野エール大使・イメージキャラクターの活用					
事業内容		ターを活用し、 現在、下野 然・景観の分割 10組11名の キャラクター の観光大使にな これらの活 係課や関係団	下野のPR・ア である。 であるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	イメージアップ 品、農産物、 〇件が認定さい ります。またい 及びまろに☆ るため、市内 を図るととも	を図っています 技術、歴史・対れ、輝け下野コ 、道の駅し「瓜田 えーるの「瓜田 での認知度の向 に、これらのあ	す。 な化、観光 ニール大使 Oけのイメ 3曜梨」が 3上、また	は、ジ市関
		●シティセールス・観光PR等に活用					
		●制度の検証・研究 					
主な	な取組	●新規認定・更新等					
(項目)		下野ブランドの	の新規認定・更	新件数	※基準値 (令和4年度)	新規:C 更新:7	
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10	年度
	(目標値)	更新:7件	更新:8件	新規:1件 更新:3件	新規:1件 更新:7件	新規:1 更新:7	
所管課		商工観光課]
関係団体				_			
SDGsへの貢献		8 25CX1 11 222727	17 substantials				

施策2-3 広域観光の推進

7071		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	14/2				
事業	2-3-1	栃木県・他自治	栃木県・他自治体との連携による観光誘客の強化				
事業内容		地域を比較さい、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では	若干劣っている 対応である 対応で	ることは否めする。 さいには、他自然で換・連携を見る。 で換・連携を見る。 でででは、他のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できます。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できます。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	、本市が、よ 本本との連携が 本とのでは、 が、選択では、 が、とのでは、 が、とのでは、 が、とのでは、 が、といいでは、 が、といいでは、 が、といいでは、 が、といいでは、 が、といいでは、 が、といいでは、 が、といいでは、 が、といいでは、 が、といいでは、 がいまに、 がし、 がいまに、 に、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がいまに、 がし、 は、 がし、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	所木県観光物産 推協議会など 内外へのPR で町、茨城県結 だによる近隣市	
		●栃木県との連携によるPR					
		●近隣自治体との連携					
主な	菜取組	●交流都市との	の連携				
(項目)		栃木県・他自治	台体との連携Pf	R事業の実施	※基準値 (令和4年度)	5事業	
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
(目標値)		5事業	5事業	5事業	5事業	5事業	
所管課		商工観光課					
関係団体							
SDGsへの貢献		11 manufacture 17 financiarité de la contraction 17 financiarité de la con					

事業	2-3-2	栃木県スポーソ	ソコミッション	との連携		
事業内容		に向けて、① ツ合宿等の誘う を進めていく!	シーを解継し、 大規模スポート 致、③新たで、 目のこまで、 を図ります。)スポーツ大会! !と組み合わせ! !立された「栃!	やイベントの説 た観光・地域で 木県スポーツコ	§致、②スポー がくり等の推進 コミッション」
主な取組		●栃木県スポー 等の誘致	ーツコミッショ	ンを通じた様々	マなスポーツ大	会・イベント
	(項目)		_		※基準値	—
数値目標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	(目標値)	_	_	_	_	_
所管課		スポーツ振興課				
関係団体		下野市観光協会				
SDGsへの貢献		17 separation 17 separation whereasts				

基本施策3 インバウンド対策 施策3-1 外国人観光客の誘客

事業	3-1-①	外国人観光客の	外国人観光客の誘客			
事業内容		会が作成し情報するなど、栃木また、市国際かけにより、ラションなどのを発見する	暇発信する県内 木県との連携事 祭交流協会等と 天平の花まつり イベントについ	問遊を促すたる業を活用します。 で連携を図り、 でしもつけ燈を で周知し、イクます。なお、	めのモデルル→ す。 ・市内在住のタ 桜会、グリムク! ベントを通して 外国人によるS)森イルミネー 、市の魅力や NSなどでの情
		●栃木県国際観光推進協議会との連携				
		●市国際交流協会への働きかけ(市イベントの周知・誘客)				
主な	定取組					
	(項目)	関係団体や企動 動	業を通したイベ	ントの周知活	※基準値 (令和4年度)	
数値目標	(目標値)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		4件	4件	4件	5件	5件
所管課		商工観光課				
関係団体		下野市国際交流協会				
SDGsへの貢献		17 may days a second se				

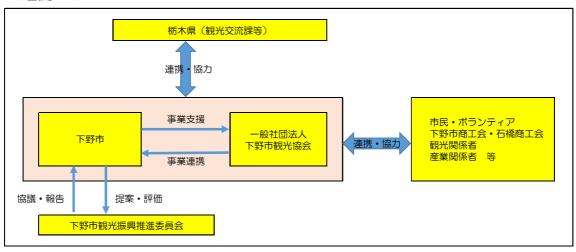
事業	3-1-2	国際感覚豊かる	国際感覚豊かな人材育成				
事業内容		語学講座の開作 発・対応力向。 また、外国]際交流協会とい ノト参加を促し、	の連携により、 、年々増加して	市民の意識啓	
		●海外姉妹都市交流事業					
		●語学講座の開催など下野市国際交流協会との連携					
主な	取組	●「やさしい日本語」の実践、栃木県国際交流協会との連携					
			種イベントに参	加できるよう	商工観光課等と	連携しPR	
	(項目)		_		※基準値		
数値目標	(目標値)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		_	_	_	_	_	
所管課		市民協働推進課					
関係団体		下野市国際交流協会、栃木県国際交流協会					
SDGsへの貢献		10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1					

第5章 計画の推進

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、行政、一般社団法人下野市観光協会、下野市商工会・石 橋商工会、観光関係者、産業関係者、市民・ボランティア等が協働し、観光振興に係る 様々な取組を推進します。

く連携のイメージ>



2 計画の進捗管理

計画の進捗管理においては、商工観光課で各事業の進捗状況を取りまとめ、下野市観光振興推進委員会が進捗状況の評価を行い、計画の推進に努めます。

なお、変化する来訪者のニーズ等に速やかに対応するため、計画期間内であっても、 必要に応じて事業の統合や新規事業の立ち上げなどを柔軟に行います。

資料1

下野市観光振興推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 下野市内の観光資源を有効に活用して観光誘客を図るとともに、情報発信による下野市の知名度向上及び地域の活性化に資するなど、下野市の観光振興を推進するための検討及び協議機関として、下野市観光振興推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

- 第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。
- (1) 下野市観光振興計画の進捗状況の評価に関すること。
- (2) 観光振興に関する計画等の策定に関すること。
- (3) その他の観光振興に関して必要な事項に関すること。

(組織)

- 第3条 委員会の委員(以下「委員」という。)は、15人以内をもって組織する。
- 2 委員は、次に掲げるものの中から市長が委嘱する。
- (1) 下野市産業振興部長
- (2) 下野市教育委員会事務局文化財課長
- (3) 一般社団法人下野市観光協会事務局長
- (4) 旅行事業者
- (5) 交通事業者
- (6) 関係機関及び関係団体の代表
- (7) 公募による市民
- (8) その他市長が必要と認めた者

(任期)

- 第4条 委員の任期は、委嘱日から当該委嘱日の属する年度の翌々年度末までとする。
- 2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

- 第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。
- 2 委員長は、委員の互選により定める。

- 3 副委員長は、委員長の指名により定める。
- 4 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて委員長が招集し、会議の議長となる。
- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門部会)

- 第7条 委員会は、第2条に掲げる所掌事務の企画調整、実施を図るため、下野市観光振興 推進委員会専門部会(以下「専門部会」という。)を置くことができる。
- 2 専門部会の設置及び運営に関する事項は、委員長が別に定める。

(報告)

第8条 委員会は、第2条に掲げる所掌事務の経過及び結果について、市長に報告し、必要 な指示を受けるものとする。

(報償)

第9条 委員に支給する報償費の額は、委員長は日額4,000円、その他の委員は日額 3,000円とする。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、産業振興部商工観光課において処理する。

(その他)

第11条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

資料2

	下野市観光振興推進委員会 委員名簿					
No.	氏名	役職	所属	備考		
1	倉田 真嗣		栃木交通バス株式会社 取締役営業部長	(4)旅行事業者		
2	荒川 弘幸	委員長	下野・壬生タクシー事業者協議会 会長	(5)交通事業者		
3	水元 信吉		東日本旅客鉄道株式会社小金井駅長	(5)交通事業者		
4	柴田 竜司		一般社団法人日本自動車連盟栃木支部 事務所長	(6)関係機関及び 関係団体の代表		
5	後藤 勲		株式会社道の駅しもつけ 取締役支配人	(6)関係機関及び 関係団体の代表		
6	山内 隆匡	副委員長	一般財団法人グリムの里いしばし 事務局長	(6)関係機関及び 関係団体の代表		
7	山口 貴明		一般社団法人シモツケクリエイティブ 代表理事	(6)関係機関及び 関係団体の代表		
8	菊地 伸治		足利小山信用金庫小金井支店 支店長	(6)関係機関及び 関係団体の代表		
9	石田 孝雄		企業組合すがたがわ 専務理事兼支配人	(6)関係機関及び 関係団体の代表		
10	森田 賢一		下野市商工会経営支援課長	(6)関係機関及び 関係団体の代表		
11	大塚 博		石橋商工会 経営指導員課長	(6)関係機関及び 関係団体の代表		
12	栃本 邦憲		下野市産業振興部長	(1)下野市産業振興部長		
13	山口 耕一		下野市教育委員会文化財課長	(2)下野市教育委員会 文化財課長		
14	松本 宏之		一般社団法人下野市観光協会 事務局長	(3)一般社団法人 下野市観光協会事務局長		
15	中村 恭子		公募委員	(7)公募による市民		

資料3

第三次下野市観光振興計画の策定経過

<下野市観光振興推進委員会開催日程>

	開催日時	議事内容
第1回	令和5 (2023) 年9月20日 (水)	第二次下野市観光振興計画の進捗状況について第三次下野市観光振興計画の策定方針について
第2回	令和6(2024)年2月2日(金)	・第三次下野市観光振興計画(案)について
第3回	令和6 (2024) 年3月28日 (木)	・第三次下野市観光振興計画(案)に係る パブリックコメント結果について ・第三次下野市観光振興計画(案)の確定について



第三次下野市観光振興計画

令和 6(2024)年 3 月 発 行

下野市産業振興部商工観光課 栃木県下野市笹原26番地

電話: 0285-32-8907

e-mail:syoukoukankou@cty.shimotsuke.lg.jp